



Maison Kumamuta



2020年 発行 2月号

広報 メゾン・クマムタ VOL, 141

社会福祉法人 恵春会

基本理念

人間尊重の精神と人間平等の思想の実現

方針

1. 個人の自由と権利の尊重
2. 自立への援助
3. 施設は地域社会福祉の核となれ
4. 職員は専門職としての誇りと研鑽を

〒861-4215

熊本県熊本市南区城南町沈目1502

障害者支援施設 くまむた荘

TEL (0964) 28-4680 FAX (0964)28-5403

くまむた荘デイサービスセンター春秋館

TEL・FAX (0964)28-2760

相談支援センター絆

TEL (0964)28-7799 FAX (0964)28-0040

(0964)28-7760

2月生まれの利用者の方



緒方 様

梶川 様

大田 様



給食だより

風邪予防に「ビタミンC」

ビタミンCはコラーゲンの生成に不可欠な栄養素で、細胞と細胞の間を結び付けて、毛細血管や皮膚を強化しています。風邪はほとんどが風邪のウイルスによって起こる症状を示しますが、主に口や鼻の粘膜から感染するので、粘膜を強くすることで風邪の予防になります。

ビタミンCは水溶性のビタミンの為、消費が激しいうえに体内では合成できないため、食品からしっかり摂取しましょう。

●ビタミンCを多く含む食品●

☆ピーマン…ビタミンCはトマトの約5倍。酸化からビタミンCを守るビタミンPを含んでいる。

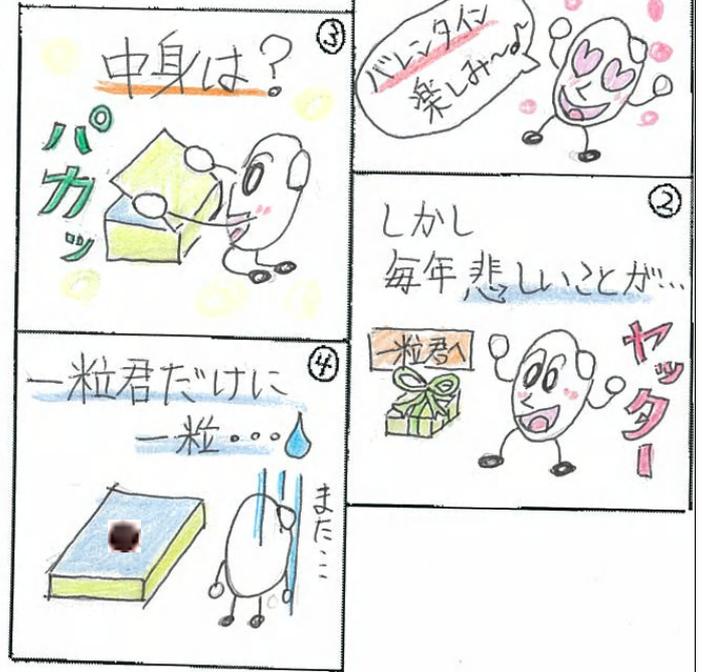
☆ブロッコリー…βカロテン、ビタミンEなどを含み、がん予防に効果的。茎に栄養があるため捨てずに摂取しましょう。

☆いちご…ビタミンCの含有量は果物の中ではトップクラス。善玉コレステロールを増やすペクチンも豊富に含んでいる。



～一粒君～

～ バレンタインだよ
～ 一粒君～



2月行事予定表

6日(木) 20日(木)・・・巡回図書火の君号

日中活動予定表

- ☆絵画教室☆ 1日(土) 15日(土)
22日(土) 29日(土)
- ☆音楽クラブ☆
6日(木) 20日(木)
- ☆レクリエーション☆
4日(火) 11日(火)
- ☆歌おう会☆ 13日(木)

おくやみ

舛岡様

令和2年1月22日にお亡くなりになられました。

この場を借りまして皆様にご報告させていただきます。

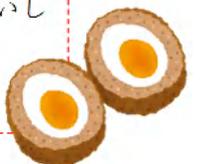
職員、利用者一同謹んで哀悼の意を表します。

新入所者紹介



北村 様

北村です。1月より入所しました。好きな食べ物はスコッチエッグです。歌謡曲が大好きで、特に氷川きよしの大ファンです！！好きな言葉は「信心・冬は必ず春となる」です。宜しく願います。



デイサービスセンター 春秋館

初詣に行きました！

HAPPY BIRTHDAY

2月生まれのご利用者紹介！



本年も例年のごとく、今年初めての外出活動として初詣に参りました。城南町の「七所宮」を参拝しました。今年が皆様にとって良い一年になりますように…。神主によるお祓いに、身の引き締まる思いを感じました。



山田 様
(2月9日生まれ)



福島 様
(2月3日生まれ)



佐村 様
(2月4日生まれ)

相談支援センター 絆

立春とは申しませんが、まだ寒さ厳しき日が続きますね。

今月は、様々な研修に参加しているなかのひとつ、熊本市子ども発達支援センター主催の「ペアレント・プログラム」を紹介します。

ペアレント・プログラム (ペアプロ) とは・・・

子育てに難しさを感じる保護者向けにお子さんの「行動」の理解、保護者が「たのしく子育てをする自信をつけること」「子育ての仲間を見つける機会」を目的としています。

絆では、障がいや発達に課題のある子どもさんの支援も行っていることから、発達に課題のある子をもつ保護者の悩みを共有したりお子さんの特性理解や課題に対して一緒に手立てを考えサポートできるよう、日頃行っている対人援助にペアプロの考え方を取り入れたいと思い、受講しています。

例えば・・・



大人の声かけひとつで子どもの行動はわかる！これは、子どもに限らず職場や家族間でも当てはまると思います。具体的に物事を伝えることで、「つたえたいこと」、「やるべきことがはっきりする」=お互い頑張れる！しかけです。

私たちも、保護者やお子さんに対し声かけがかわったり、より具体的にアセスメントを取れるようになって考えています。相談員一人ひとりが専門性を磨き、日々の支援に還元できるよう頑張ります！

感染症対策職員研修



機械浴



1月6日・8日・10日に医務室主催で、感染症対策の研修が行われました。今回取り上げられた感染症はノロウイルスでした。感染者発生時の対応について、班に分かれ実践形式で学びました。対応策は年々変わってきており、今回の研修は大変勉強になりました。職員が正しい知識と適切な対応方法を身につけ、施設内での感染症の発生、感染予防に努めていきたいと思えます。

今回、1棟の機械浴が新設されました。椅子に座ったまま浴槽に浸ることができるリフトです。生活支援員は操作手順の説明を受け1月中旬より活用を始めています。ご利用者が安心して気持ちよく入浴ができるよう支援していきたいです。



伊藤理学療法士のコーナー

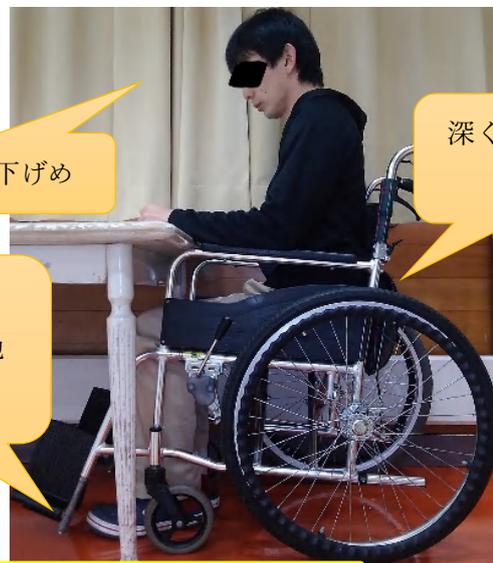
皆さんは「誤嚥性肺炎」という言葉をご存知でしょうか？

食べ物や飲み物を飲み込む動作を「嚥下（えんげ）」といいます。この動作が上手く行えず食べ物や飲み物などが誤って気管に入ることを「誤嚥（ごえん）」といいます。この誤嚥を起こす原因の一つとして食事の姿勢があります。

視線は少し下げめ

深くしっかりと座る

足の裏がしっかりと接地している



『姿勢改善チェックポイント』

- ① 背筋を伸ばし車椅子に深くしっかりと座る。
前傾姿勢を保つために、背中や頭の後ろにクッションを入れて支える。
- ② 足の裏がフットレスト等（基本は床）にしっかりと接地している。
- ③ 視線は少し下げめで。
- ④ 身体の傾きがなく左右対称になっている。